

	2006-07	2007-08	2008-09	2009-10	2010-11
1	松木先生 ポジション論	木部先生 子どもの精神分析の治療過程	北山先生 フロイトを読む	菊地先生 夢の臨床	菊地先生 転移・逆転移
2	木部先生 こどもの心的世界とアセスメント	菊地先生 内的世界—アセスメント面接を通じての見立て	福本先生 投影同一化概念の誕生と変遷	松木先生 ビオンの概念:♀/♂	松木先生 ビオン:Kリンク
3	小野先生 思春期の心理療法	松木先生 抑うつ心理療法	菊地先生 摂食障害の精神分析的臨床	飛谷先生 ヒステリー	飛谷先生 ヒステリー2治療論
4	鵜飼先生 発達障害児の心理療法	平井先生 思春期・青年期の発達障害の心理療法	深津先生 鵜飼先生 齋藤先生 親面接について	鵜飼先生 木部先生 山上先生 自閉症児との精神分析的な心理療法	木部先生 森先生 子どもの精神分析:クライン派と自我心理学
5	北山先生 フロイトの治療記録	奥寺先生 福本先生 精神分析と心的外傷	木部先生 飛谷先生 こどものこころの情景(セリタック)	鈴木先生 相田先生 学校へのコンサルテーション(ワークディスカッション)	北山先生 セクシュアリティの日本語臨床
6	山上先生 メルツァーを語る	鵜飼先生 齋藤先生 民族的マイノリティと精神分析的な心理療法	松木先生 ビオンと向かい合う	藤山先生 甘え概念	福本先生 飛谷先生 美学的葛藤:メルツァーから見た精神分析

	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16
1	菊地先生 解釈について	鵜飼先生 子どもと家族の包括的アセスメント	マルヤ・シルマン先生 解釈が子どもに届くとは?	松木先生 逆転移と精神分析臨床	松木先生 × 仙道先生 精神分析臨床のためのアセスメントの実践
2	松木先生 ビオン3:グリッド	菊地先生 精神分析的な心理療法の実践:アセスメント	飛谷先生 夢解釈の方法	飛谷先生 夢解釈の方法Part 2	皆川先生 病理的組織化(その2)
3	鵜飼先生 齋藤先生 子どもの精神分析:被虐待児との心理療法、転移・逆転移	松木先生 ビオンの臨床技法	別府先生 平井先生 自閉症の理解の最前線	皆川先生 病理的組織化	鵜飼先生 発達障害を持つ子どもと心理療法
4	鈴木先生 学校教育と精神分析—コンテインメントの作用	東中園先生 統合失調症の精神分析療法の可能性	松木先生 転移の臨床	鵜飼先生 精神分析的な乳児観察と調査・研究	鈴木先生 精神分析を応用する実践の最前線—Work Discussion Method
5	渡辺先生 乳幼児研究の最近	木部先生 現代のこどもの精神分析	鈴木先生 ハフジ先生 集団としての学校	木部先生 ヘンリー・ダーガーと自閉症心性	藤山先生 精神分析を実践を開始すること
6	飛谷先生 ナルシズム:無意識的羨望と死の本能の臨床	飛谷先生 ナルシズム2:投影同一化と主体性の体験	藤山先生 修行について考える(午前落語つき)	東中園先生 × 北村先生 精神科臨床における精神分析の今後	飛谷先生 メルツァーの「閉所/クロストラム」

	2016-17	『メラニー・クラインについて学ぶ—対象関係論の基礎』	2017-18	『ビオンとウニコットについて学ぶ』	2018-19	『現代クライン派精神分析を学ぶ—ポスト・クライン派の臨床』
1	仙道先生	クライン派対象関係論の源流-フェレンツィとアブラハム	浅田先生	集団への精神分析的アプローチ	皆川先生	病理的組織化と心的退避
2	鵜飼先生	遊戯技法の発見と子どもの内的世界の探索	松木先生	思考/考えることと精神病の精神分析	飛谷先生	メルツァーの閉所/クロストラム: その二
3	脇谷先生	早期エディプス状況と早期超自我	飛谷先生	コンテイング・マインド-「名づけようのない恐怖」の重要性と臨床のインフラ構造	福本先生	ベティ・ジョセフの理論と技法: その源と今日の位置
4	松木先生	メラニー・クラインのポジション論	鵜飼先生	ウニコットの移行対象論	浅田先生	英国現代精神分析におけるロナルド・ブリトンの貢献
5	福本先生	「投影同一化」概念の誕生と変遷	館先生	ウニコットの臨床	平井先生	タスティンと自閉症の子ども心の世界の探求
6	飛谷先生	「羨望」	平井先生	ビオンと子どもの精神分析的な心理療法	脇谷先生	アルヴァレズの臨床から学ぶ